

令和8年度第23回四国地域福祉実践セミナーin 愛媛・宇和島 開催要項

「誰もが支え手となる時代に向けて、今わたし達にできることは
～ROAD to 2040～」

【趣旨・目的】

近年、少子高齢化や人口減少が進んでいる中、高齢者世帯や単身世帯の増加により、人々の暮らしの中での課題は、複雑化、多様化しています。

このセミナーではこれらの課題解決力の強化等地域共生社会の実現に向けて、四国で取り組んでいる実践者や団体から学び、住民主体の地域づくりについて改めて考えることを目的に開催するものです。

開催期日	令和8年8月1日（土）12時30分（受付11時30分から） から令和8年8月2日（日）12時30分まで
会場	宇和島市立コスモスホール三間 他 （愛媛県宇和島市三間町迫目138）
主催	第23回四国地域福祉実践セミナー実行委員会
共催	日本地域福祉学会／宇和島市社会福祉協議会／愛媛県社会福祉協議会
後援 （予定）	宇和島市／香川県社会福祉協議会／徳島県社会福祉協議会／高知県社会福祉協議会／愛媛県社会福祉士会／愛媛県民生児童委員協議会／愛媛県社会福祉法人経営者協議会／愛媛県老人福祉施設協議会／愛媛県保育協議会／愛媛県児童福祉施設連合会／愛媛県身体障害者団体連合会
参加対象	・地域福祉に関心をお持ちの住民、ボランティア、NPO ・医療、保健、福祉及び地域福祉に携わる専門職 ・行政、民生委員児童委員、高齢・障がい者団体、 社会福祉法人、社会福祉協議会等
定員	500名
参加費	1人当たり一般3,000円、学生1,000円 ※宇和島市民で参加希望の方は宇和島市社協に直接お問合せください。

【プログラム】

8月1日(土) 12:30~17:15

11:30	12:30	13:00	14:50	15:15	17:15	18:30	20:30
受付	開会 行事	シンポジウム	移 動	分科会	移 動	交流会	

8月2日(日) 9:00~12:30

8:30	9:00	10:15	10:30	12:00	12:20	12:30
受付	分科会 報告	休 憩	総括講演	俳句 表彰	閉 会 行 事	

【内 容】

1 日目【8月1日(土)】

○ 開会行事・シンポジウム(12:30~14:50)

会場：コスモスホール三間

12:30~13:00 開会行事

13:00~14:50

テーマ「豪雨で被災した宇和島の復興
—2040年に向けての地域づくり—」

○シンポジスト

- ①宇和島市 市長 岡原 文彰 氏
- ②宇和島市 保健福祉部長 岩村 正裕 氏
- ③株式会社アクティブモア 代表取締役 久徳 壮一郎 氏
- ④宇和島市社会福祉協議会 会長 廣瀬 孝子

○コーディネーター

日本社会事業大学 名誉教授 大橋 謙策 氏

○ 分科会(15:15~17:15)

各分科会場のご案内

- ・コスモスホール三間
- ・宇和島市社協三間支所
- ・三間公民館
- ・三間町隣保館

※分科会の会場については、申込状況により決定します。参加券をお送りする際にお知らせします。

分科会 1	「災害にも強い」つながりある地域づくり
<p>【趣旨】</p> <p>近年大規模化・頻発化する自然災害では、外部からの支援を期待できない状況に陥ります。その中であって、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、個々の地域が主体となって災害への備えを進めることが非常に重要です。また、その備えは建物やインフラなどのハード面を進めるだけでは不十分であり、地域住民や企業、団体等で支えあえる「顔の見える関係づくり」といったソフト面での対策が必要不可欠です。ついては、社協やNPO等の実践を通して、「災害にも強い」地域のつながりづくりをどのように進めることができるかを、参加者の皆さんと意見交換しながら考えます。</p>	
<p>【ターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災に興味関心がある人（自治会、地域団体、自主防災組織、防災士） ・ 福祉専門職（災害を切り口に地域福祉を推進したい） ・ 社協職員、NPO（災害ボランティアセンターの運営に関わる） 	
<p>【構成】</p> <p>○船頭（ファシリテーター） 愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部長 喜安 恒賀 氏</p> <p>○実践発表者</p> <ol style="list-style-type: none"> ①【高知】高知市下知地区減災連絡会 事務局長 坂本 茂雄 氏 ②【愛媛】宇和島市子ども食堂連絡協議会 会長 折原 理恵 氏 ③【愛媛】宇和島市社会福祉協議会 吉田支所 主査 小林 綾子 氏 <p>○アドバイザー（有識者） 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 弘彦 氏</p>	

分科会 2	その人らしく「生きる」を支える
<p>【趣旨】</p> <p>2040年、日本は単身世帯が全世帯の約4割に達し、「家族」というセーフティネットがさらに細分化されます。これまでの福祉は「困りごとがある人」を支えるものでしたが、これからは「誰もが当事者になり得る孤立」をどう防ぎ、最期までその人らしく生き切るための権利をどう守るかが問われます。本分科会では、実践を通して、身寄りのない方への支援や権利擁護、住民と専門職の新たな協働のあり方を深掘りし、地域に暮らす「お一人おひとり」をどう支えていくことができるかをみんなで考えます。</p>	

<p>【ターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉専門職（権利擁護、金銭管理、死後事務等に従事、ケアマネ） ・民生委員（見守りに悩んでいる） ・当事者、当事者家族（終活に興味がある、家族が遠方にいる）
<p>【構成】</p> <p>○船頭（ファシリテーター） 今治市社会福祉協議会 関前支部長 島崎 義弘 氏</p> <p>○実践発表者</p> <ol style="list-style-type: none"> ①【香川】琴平町社会福祉協議会 事務局長補佐 新原 隆一 氏 ②【高知】集落活動センター「奥四万十の郷」 センター長 中越 一俊 氏 ③【愛媛】NPO法人ささえる 代表理事 山田 洋子 氏 <p>○アドバイザー（有識者） 四国学院大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 石井 洗二 氏</p>

分科会 3	「困っている人」を支える「ごちゃまぜ」チームプレー （重層的支援体制整備事業こと始め）
<p>【趣旨】</p> <p>現代社会では、孤立やひきこもり、生活困窮などが絡み合った、既存の窓口だけでは解決できない複雑な課題が増えています。その中で求められているのは、行政や社協、NPO、住民が立場の垣根を越え、強みを持ち寄る「ごちゃまぜ」のチームプレーです。「目の前の人を誰も取り残さない」福祉を実現するために進められている「重層的支援体制整備事業」。本分科会では、行政と各団体が手を取り合い、目の前の「困っている人」を支えるために進めてきた体制づくりと悩み、その思いを、実践事例を通して共有し、自分たちの町らしい「支え合いのカタチ」を皆さんと共に考えます。</p>	
<p>【ターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政職員（重層的支援体制整備事業を行う、行いたい） ・社協職員（重層的支援体制整備事業との関わり方、受託を検討） ・民生委員（引きこもりの方や世帯を担当している） ・専門職（スクールソーシャルワーカー等） 	
<p>【構成】</p> <p>○船頭（ファシリテーター） 宇和島市 保健福祉部長 岩村 正裕 氏</p> <p>○実践発表者</p> <ol style="list-style-type: none"> ①【徳島】NPO 法人 YOU&ゆう 理事長 岡田 あかね 氏 	

②【香川】高松市田村文化センター 副主幹 長尾 香織 氏

③【愛媛】地域づくり推進事業所もみの木運営協議会 会長 大江 清 氏

○アドバイザー（有識者）

文京学院大学人間学部 教授 中島 修 氏

愛媛大学教育学部 教授 魁生 由美子 氏

分科会

4

「暮らし続けたい」を支える！ 玄関から広がる生活支援を考える

【趣旨】

「病院や買い物には行けるけれど、バス停からの帰り道がづらい」「部活、塾に参加したいけど、バスがないから地元を離れて下宿しないといけない」

近年、人口減少による過疎化の影響で、暮らしを支える移動手段が脆弱になっています。高齢者から子どもまで、私たちが地域で自分らしく暮らし続けるためには、食料の購入や通院、通学といった必要最低限の外出だけでなく、「友人に会いたい」「お気に入りの場所へ行きたい」「部活に参加したい」といったワクワクするお出かけも重要です。本分科会では、生活を支える移動の課題に向き合い、誰もが自由に行きたいところへ行ける地域や仕組みづくりについて、実践事例を通して、皆さんと一緒に考えます。

【ターゲット】

- ・地域住民（移動に困っている、困るだろう、困っている人を知っている）
- ・社協職員（生活支援体制整備事業担当者）
- ・行政職員（福祉、公共交通関係）

【構成】

○船頭（ファシリテーター）

宇和島市社会福祉協議会 地域支援係長 奥野 佳代 氏

○実践発表者

①【徳島】NPO 法人こやだいら 代表者（調整中）

②【高知】NPO 法人とかの元気村 副理事長 森田 有紀 氏

③【愛媛】ネットヨタ瀬戸内株式会社 モビリティ事業部長 大石 一浩 氏

○アドバイザー（有識者）

新見公立大学健康科学部地域福祉学科 講師 雑賀 正彦 氏

2 日目【8月2日（日）】

会場：コスモスホール三間

○ 分科会報告（9：00～10：15）

各分科会からの報告

○ 総括講演（10：30～12：00）

講 師 日本社会事業大学 名誉教授 大橋 謙策 氏

○ 俳句表彰（12：00～12：20）

〈地域福祉五七五（地域福祉句会）の開催について〉

セミナー開催に当たり、恒例の地域福祉句会を開催します。なお、投句方法等は、セミナー当日に改めてお知らせします。

○ 閉会行事（12：20～12：30）

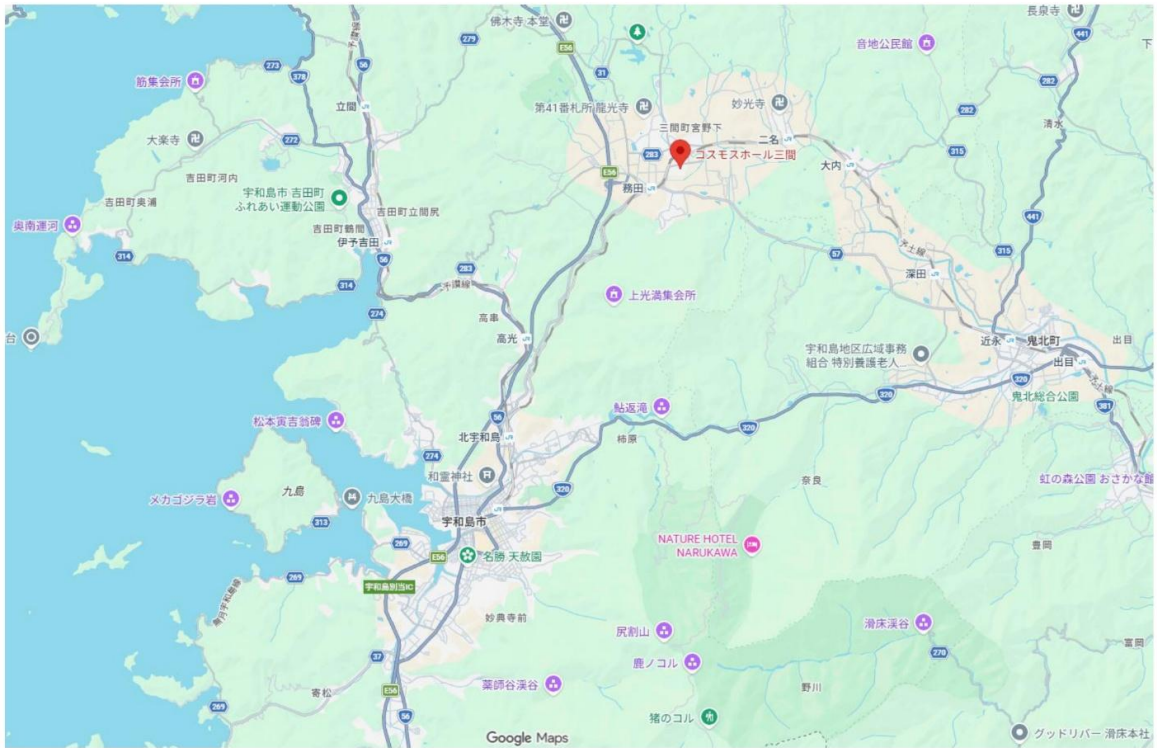
【会場案内】

○メイン会場

コスモスホール三間

愛媛県宇和島市三間町迫目 138

- ・JR 予土線伊予宮野下駅より徒歩 10 分
- ・JR 宇和島駅から距離 9km・自動車 15 分



○分科会会場

宇和島市社協三間支所

宇和島市三間町迫目 126

メイン会場より県道278号を挟んで向かい側

三間公民館

宇和島市三間町宮野下 835

メイン会場より車で3分（徒歩12分）

三間町隣保館

宇和島市三間町務田681-1

メイン会場より車で3分（徒歩12分）

○各会場位置関係図



- | | |
|--------|------------|
| ①メイン会場 | コスモスホール三間 |
| ②分科会会場 | 宇和島市社協三間支所 |
| ③分科会会場 | 三間公民館 |
| ④分科会会場 | 三間町隣保館 |

○交流会会場

仕出し・宴会 まつうら

愛媛県宇和島市和霊元町 3-2-8

交流会費 1人 6,000円



セミナー参加申し込みについてのご案内

1 申込方法

セミナー専用申込フォーム <https://fj-t.co.jp/fukushi-uwajima> 中にある参加申込書をご記入の上、申込書をメール添付にてお送り下さい。メール送信先アドレス jissen-seminar-uwajima@the-fuji.com 別添のExcelシートには個人情報保護の観点からパスワード設定しています。パスワードは小文字数字の『0801』の4文字です。お手数ですがパスワード入力後、申込書作成をお願いします。

なお、お申し込み後1週間が経過しても確認メールが届かない場合は、フジ・トラベル・サービス 宇和島支店(0895-25-8838)までお問い合わせ下さい。

※宇和島市民の方は、申込方法が異なりますので、宇和島市社協まで直接ご連絡ください(0895-23-3711)

2 申込期間

お申し込みは、2026(令和8)年6月30日(火) 16時までにお願いします。

3 参加費

一般 3,000円 学生1,000円

※宇和島市民の方でセミナーのみご参加を希望される方は直接宇和島市社会福祉協議会へお問い合わせ下さい。

4 参加申し込みの記入について

セミナー1日目【8月1日】に開催の「分科会」の中から、ご希望の分科会番号を第二希望までご記入下さい。

同じ分科会を重複して記入されないようにお願いします。なお、お申し込み順に受付をいたしますが、定員超過等により第一希望にご参加いただくことができない場合もございますので、どうかご了承ください。

■「交流会」欄 1日目【8月1日】

交流会にご参加の場合は、別途6,000円が必要です。記入欄の「参加」または「不参加」を○でお選び下さい。なお、会場の都合で先着80名様までとなります。

■「宿泊」欄

宿泊をご希望される方のみお申し込み下さい。確保分がなくなり次第、終了させていただきます。同じホテルでも禁煙・喫煙によってホテル記号が異なります。

ホテル毎の詳細は別紙ホテル案内をご確認下さい。消臭対応は可能ですのでご希望される場合はお申し出下さい。

ご案内いたします宿泊の取扱は、(株)フジトラベルサービス 宇和島支店が企画・実施する「募集型企画旅行」となります。

【宿泊代】

ホテル記号	ホテル名	宿泊代金(税込)	禁煙・喫煙
A	スーパーホテル宇和島駅前 天然温泉	11,800円	禁煙
B	スーパーホテル宇和島駅前 天然温泉	11,800円	喫煙
C	宇和島第一ホテル	9,500円	禁煙
D	宇和島第一ホテル	9,500円	喫煙
E	宇和島リージェントホテル	11,500円	禁煙・喫煙指定不可
F	宇和島オリエンタルホテル	9,500円	禁煙
G	宇和島オリエンタルホテル	9,500円	喫煙
H	JRホテルクレメント宇和島	11,550円	禁煙・喫煙指定不可

5 参加費用について

(1)参加費用の支払方法

お支払いは「銀行振込」にて承ります。参加お申し込み完了後、「受付完了メール」に記載の金額、振込先をご確認の上、**7月3日(金)**までに指定口座へお振込み願います。

なお、振込手数料はお申込者負担にて願います。

(2)お申込内容の「変更」・「追加」・「取消」方法について

お申し込みの内容に「変更」・「追加」・「取消」が生じた場合は、参加申込書に変更内容をご記入の上、メールに添付して送信下さい。

団体・グループにおかれましては、申込担当者(代表者)が一括してお申し出ください。

特に、交流会・宿泊の「変更」・「取消」はお早めにご連絡下さい。お申し込み後の取消の場合には、下記の通り「取消料」が発生しますので、あらかじめご了承ください。

なお、「**参加費**」については、**ご返金できません**のでご了承ください。

交流会費および宿泊費の返金につきましては、ご指定の口座にお振込みいたしますので、金融機関名・本支店名・口座種別・口座名義人等をお知らせ下さい。

返金額は振込手数料を差し引いた金額とさせていただきます。

【取消料】

取消日	7/11まで	7/12～7/24	7/25～7/30	7/31	8/1	無連絡不参加
交流会	無料	無料	30%	40%	100%	100%
宿泊	無料	20%	50%	100%	100%	100%

お申し込みの内容を「取消」または「変更」をする場合は、下記の(株)フジトラベルサービス宇和島支店の営業時間内(10:00～18:30)にご連絡下さい。

詳しくは、受付サイト上に添付の旅行条件書をご確認下さいませ。

(3)災害等による開催中止時の対応について

天災地変等の不可抗力により、本セミナーを急遽中止せざるを得ない場合の費用等の取り扱いは、以下の通りといたします。

①参加費について

理由の如何を問わず、ご返金できませんのであらかじめご了承ください。

②宿泊費・交流会費について

各宿泊施設および会場側と協議の上、返金可能な金額について対応させていただきます。

③中止の通知方法

中止が決定した場合は、速やかに申込書に記載のメールアドレスへご連絡いたします。

6 参加申込書の送付先およびお問い合わせ先について

株式会社フジ・トラベル・サービス 宇和島支店

〒798-0023 愛媛県宇和島市伊吹町912-2 フジグラン北宇和島店内

E-mail jissen-seminar-uwajima@the-fuji.com

TEL(0895)25-8838 FAX(0895)24-4819

営業時間 10:00～18:30(年中無休) 担当:福岡・岩見

●セミナーの内容・運営についてのお問合せ先(セミナー事務局)

●宇和島市民で参加希望の方のお問合せ先

宇和島市社会福祉協議会 地域福祉課

〒798-0003 愛媛県宇和島市住吉町一丁目6番16号

TEL(0895)23-3711 FAX(0895)24-7889